

# 要 旨

## グループウェアにおける利用向上を目指したシステム

前原 慎一

グループウェアにより、複数のメンバー間でさまざまな知識や情報をできるだけ広く共有し、組織における生産性向上や業務プロセスの効率化を目的として、近年、多くの企業でグループウェアが導入されている。グループウェアは、さまざまな機能を実装し、グループウェアの開発は活発に行なわれている。しかしながら、組織における情報共有は十分な状況には至っていない。また、本研究室におけるグループウェアの運用結果から、グループウェアを利用する人・しない人では、利用の差が大きいことや、グループウェアの利用数が次第に減っていき、情報共有を促進するどころか、衰えていっていることがわかった。

そこで本研究では、これらの問題を解決するために、グループウェアの利用向上を目指し、グループウェアを利用するきっかけ作りをするための手法を提案する。そして、そのきっかけ作りとして、仕事依頼機能を提案し、提案機能を実装したグループウェアにより運用実験を行なう。この実験から得られた結果より有効性を評価する。その結果、グループウェアを利用するメンバーには、利用向上の効果が得られ、利用される機能や総利用数も増加した。しかし、グループウェアを利用しないメンバーには、これらの効果はほとんど見られず、仕事依頼機能による効果は小さかったため、引き続き、グループウェアを利用しない人への工夫が必要であると考えられる。

キーワード ナレッジマネジメント，情報共有，グループウェア

# Abstract

## A Groupware to Improve Utilization Ratio

MAEHARA, Shin-ichi

In recent years, many enterprises are introducing groupware to share information which is accumulated in the organization.

The groupware has a lot of functions. However, the members are not using those functions so much. Furthermore, as a result of the operation in our laboratory, a difference is found out. The groupware shows the tendency not to gradually used.

In this paper, I have proposed the work-request function to improve the utilization of the groupware. The proposal function is aimed at triggering the utilization of the groupware for users which almost never use the traditional groupware. Finally, I have built and evaluated the groupware which includes the proposal function.

**key words**     Knowledge Management , Information sharing , Groupware